

## 芥川高校 3部合同チャリティコンサート 講習会

1.28.2015 平野恵司 (元阿武野高校教諭、たかつき保養キャンプ事務局高校生担当)

1) **明らかなこと** 放射能は体に良くない ♡1/27 記事  
 40億年前、地球上の放射能が減少して、生命は誕生することができた。生きものと放射線は相いれない。(小出裕章)  
 事故後、放射線量は格段に高くなった  
 放射能管理区域にしなければならない汚染が宮城県南部から東京都の一部にまで広がっている。



たった1つの  
 原発事故でも  
 地球規模の汚染  
 原発は日本で48  
 全世界で140以  
 上ある ♡1/23 記事

広島原爆で燃えたウランの重量

**800g**

(生成した核分裂生成物の重量)

100万kWの原子力発電所  
 1基が1年運転することに  
 燃やすウランの重量

**1トン**

(生成する核分裂生成物の重量)

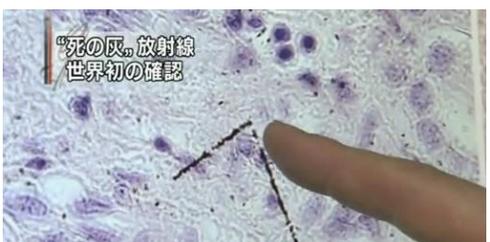
2) **不確かなこと** これからの健康被害  
 自分は健康であっても、自分の子や孫、世代を渡って深刻な影響を及ぼすかもしれない  
 外部被曝<内部被曝=食べ物から放射性物質を取り込む  
 関西でも…生協などが自主検査 学習会、イベント常時開催 全国に子どもを守る会がある  
 ウクライナでは…病氣・障害を抱えているこども 15万人対象に国費で3週間の保養  
 低線量長期被ばく →

3) **さまざまな意見** 原発運転再開 賛成=28% 反対=59% 2014.3 朝日新聞世論調査  
 「危険」という人は大げさ、神経質、不安をあおる、復興の妨げ、風評被害 →判断は各自で  
 情報を読み解く力 (メディアリテラシー)

4) 保養キャンプのこと→「たかつき保養キャンプ」または「ほよう関西」で検索  
 放射線のこと→理科や家庭科の先生に聞く 高槻・市民放射能測定所を利用  
 若者向けの原発/放射能情報→「Save life from nukes」  
 または facebook「Save life action」で検索



【おすすめ記事】日本で報道されていないことが世界で報道されている  
 ♡12.25 記事「福島の子もたちが闘う見えない敵」THE HUFFINGTON POST  
 ♡1.4 記事「フクシマ・地球規模の汚染へ」フランスFR3放送 ドイツ国営放送 ZDF も  
 ♡1.28 記事「虹のまつり 2007」1.1kmのマフラー



を被災地に送る感動のドキュメント(13分)  
**寄贈図書** 原発は滅びゆく恐竜である (水戸巖著)  
 国策と犠牲 原爆・原発 そして現代医療のゆくえ (山口研一郎著)

長崎原爆で死亡した被爆者の体内に取り込まれた放射性降下物が、被爆から60年以上たっても放射線を放出し続けている顕微鏡写真 (長崎大提供)

放射能の時代を生きる  
**未来の子どもたちへ**  
Save life from nukes 原発/放射能がいのちを守れ

起こってしまった 広がる これからの  
**原発事故 放射能汚染 健康被害**

**原発事故が起きた**

**15万人以上が避難した**

**大量の放射能が放出された**

**そして今 事故は収束せず、汚染は広がっている**

広島原爆168発分  
セシウム137 2011年2月 政府発表

さらに  
増え続ける汚染水 打つ手なし

**そして今 高汚染地帯に多くの人暮らししている**

**そして今 福島だけでなく  
首都圏のホットスポットからも  
関西に避難してきている**

全国で260の団体が  
被災地の子どもたちの保養プログラム  
を催している  
(2013年度)  
市民研通信第28号より

**関西は安全 ではない**

汚染はさらに広がる

**これから 起こること...???**

フクシマの25年前 今から約30年前  
チェルノブイリで原発事故が起こった

年を追うごとに  
健康な子は減り  
病気の子が増えてきた

**78%の子どもの慢性疾患**

ウクライナ政府報告書(2011年)

事故後、汚染物の子どもたちの身体に蓄積していること

**子どもたちに何気ない病**  
と呼んでいる

**病気の花束**

眼科と血液検査と  
甲状腺の検査をしました

**チェルノブイリ  
2.8年目の子どもたち**

**体育の授業3/4が要配慮**

疲れやすく授業時間短縮  
宿題や学力テストの廃止

**低線量長期被曝**

ほとんどは **食べ物** からと言われている

放射能汚染物を体内に摂取する

放射線  
体に貯まる放射能  
DNA(遺伝情報)を切断する

甲状腺 甲状腺癌(7.5日)  
肺 アルミニウム (まとめて長い)  
皮膚 クリプトン  
腎臓 ウラン、ルネチウム (280日)  
筋肉 セシウム (110日)  
骨髄 コバルト、セシウム (永久)  
生体組織 コバルト、セシウム (まとめて長い)

**いわき沖から初出荷**

事故後の初出荷。「魚の放射性物質濃度は、いわき市漁協などによる自主検査でヤナギムシガレイが国の基準値(1kgあたり100ベクレル)以下の13ベクレル、メヒカリは不検出などと、いずれも基準値を大きく下回った。(5.9.2014朝日新聞より)」

私たちが事故前に食べていた魚は平均0.091ベクレル。この魚、安心して食べられますか？

事故前の魚	0.091	セシウム137	↓143倍
ヤナギムシガレイ	13		
国の基準値	100		↓1100倍

15カ国が日本からの食品輸入を規制 (2013.9現在)

根菜	0.008→100	12,500倍
牛乳	0.012→50	4,200倍
上水	0.00004→10	25万倍

ドイナス水道協会 / 0.5 アメリカの法令基準 / 0.111

国営の室内砂場

これが私たちの未来？

**life** = いのち、生き物、暮らしに欠かせない

空気 水 食べ物 が汚染されてしまった  
被ばくは覚悟しなければならない

それでも  
被曝を極力抑える ▶ 放射能を監視する  
これ以上の汚染を許さない ▶ 脱原発へ  
このことをいつまでも **続けてゆく**